

ベトナム含む東南アジア IPO 市場、2025 年に回復期待

2025 年 2 月 27 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

ベトナム含む東南アジア IPO 市場、2025 年に回復期待

2024 年の東南アジアにおける IPO 市場は、全体の取引件数が減少したものの、一部の国では資金調達額が増加するなど、明暗が分かれる結果となった。ベトナムでは IPO の件数が前年より減少し、2024 年は証券会社 DNSE による 1 件のみであったが、調達額は 3,700 万ドルと市場全体の 2023 年の調達額を超えた。タイでは IPO の件数が 29 件に減少したものの、7 億 5,600 万ドルを調達し、東南アジアの主要 IPO 市場の一つとなった。特にマレーシアは 46 件の IPO を実施し、15 億ドルを調達して地域内で最大の市場となった。一方、インドネシアは 39 件の IPO で 3 億 6,800 万ドルを調達し、前年の 79 件・36 億ドルから大幅に減少した。シンガポールでは、4 件の IPO が Catalist 市場に上場し、3,400 万ドルを調達した。

全体として、2024 年の東南アジアにおける IPO 市場は 122 件の取引で 29 億ドルを調達し、過去 9 年間で最も低い水準となった。主な要因としては、大型 IPO の不在、地政学的な緊張、金利の上昇、および各国の異なる規制環境による影響が挙げられる。特に ASEAN 地域では、企業が IPO を延期する傾向が見られた。Deloitte の専門家は、2025 年には利下げやインフレ抑制により IPO 市場が回復し、特に不動産、ヘルスケア、再生可能エネルギー分野で投資が活発化すると予測している。

業種別では、消費財とエネルギー・資源分野が IPO 市場を主導し、全体の 52%の取引数と 64%の資金調達額を占めた。東南アジアの消費市場の成長により、企業間の競争が激化し、プレミアム市場へのシフトが進んでいる。また、再生可能エネルギー分野は、エネルギー安全保障、持続可能性への取り組み、需要の増加に伴い、今後も注目される分野である。

ベトナム市場に関しては、証券市場の環境は依然として不安定であるが、低金利や政府の規制緩和が追い風となり、今後の成長機会が期待される。政府は市場の格付け向上に向けた政策を打ち出しており、2025 年に向けて投資家の信頼回復を目指している。

以上